

第1回融合委員会の目的

京都の未来像と重点戦略のアイデアを抽出すること

成果の概要

2時間 50分のワークショップを通じて、京都の未来像と重点戦略について、各テーブルから、幅広い視点からアイデアが抽出されました。

京都らしさの切り口から意見交換が進んだグループや、「京魂（きょうこん）」といった新しい言葉を産み出したグループ、「新京都人が担う京都の未来」といった京都スタイルに共感する人を新京都人と定義したグループなど、各テーブルで多様な切り口から、京都の未来が語られました。

未来像、重点戦略の視点として、京都の多様性を活かしたまちづくりや安心して住み続けられる京都、国際的やサステナブルといったテーマを基にした融合都市としての京都の在り方、産業経済、若者や子どもなど次世代の力を活かしたまちづくり、歴史ロマン、観光など様々な方向性をもったものが提案され、特定分野に偏らない議論が展開されました。



6テーブルでワークショップを行いました。



ワークショップは真剣かつ和やかな雰囲気で行われました。

実施概要

日時 平成21年11月9日（月）午後1時～午後4時10分
 場所 ひと・まち交流館京都（2階大会議室）
 参加者 尾池審議会会長、宗田融合委員長
 審議会委員（32名）
 行政職員（16名）
 テーブルマネージャー（6名）
 記録（6名）

当日のプロセス

開会

○尾池会長あいさつ、門川市長あいさつ

ステップ1

○プログラムの説明

ステップ2

○宗田委員長から、京都市の現状と課題について報告
 ○松山議長から、若者会議 U35 の若者提案について中間報告
 ○平井副委員長から、未来まちづくり 100人委員会の活動について報告

ステップ3

○未来像・重点戦略の書き出し
 ◇未来像・重点戦略をポストイットに記入

ステップ4

○発表
 ◇ポストイットに記入した未来像、重点戦略をテーブル内で発表

ステップ5

○テーブル案まとめ
 ◇未来像、重点戦略をグループ内で意見交換を行いながら整理分類

ステップ6

○全体共有 未来像・重点戦略のまとめ
 ◇各テーブルからの未来像・重点戦略を全体の場で発表

講評

○各テーブルからの発表をふまえた尾池会長からの講評



門川市長が「大学、産業、人などあらゆる力を融合したところに京都の未来がある。」とあいさつ



宗田委員長から、地球温暖化や厳しい財政見通しを踏まえた政策融合の必要性などについて詳しく説明



松山議長から、多様性、10年後の社会の変容、若者ならではのつながりなどの視点からの報告



未来像と重点戦略のアイデアが満載されたポストイットが次から次へと・・・



メンバーからの発表を聞いて、新しい視点に気付くことも！



様々な視点から出された未来像、重点戦略を分類する難しい作業をグループで協力して進めました。



各テーブルの成果を参加者全員の前で発表し、全体で共有を図りました。



尾池会長から、「本日は「～ではないか？」という発表が多かったが、根拠となるデータを京都市に求め、事実に基づいた結論を出していただきたい」と講評